



Web 設定画面を表示する

Web 設定画面には「ダイレクト接続」または「インフラストラクチャ接続」でアクセスしてください。

■ダイレクト接続

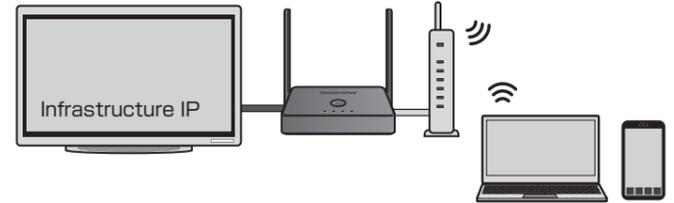
受信機の WiFi ネットワークに直接接続します。ホーム画面上部の「SSID」「Password」ホーム画面下部の「Direct Link IP」を使用してアクセスします。

HINT 本製品の Direct Link IP は 192.168.168.1 固定です。



■インフラストラクチャ接続

設定を変更する受信機（親機）が、Web 設定画面を操作する端末と同一の既存のネットワークに導入済みの場合、ホーム画面下部の「Infrastructure IP」を端末のブラウザに入力して Web 設定画面にアクセスすることが可能です。



ダイレクト接続で Web 設定画面にアクセスする

1. 受信機を映像機器に接続してホーム画面を表示します。



Direct Link IP：受信機の IP アドレス

2. スマートフォンまたはパソコンの WiFi 設定を表示します。ホーム画面上部に表示されている受信機の「SSID」と「パスワード」を使用して、受信機の WiFi に接続してください。



3. 受信機（親機）の WiFi に接続したスマートフォンまたはパソコンでブラウザを表示して、アドレスバーにホーム画面左下に表示されている「Direct LinkIP」の IP アドレス「192.168.168.1」（または http://192.168.168.1）を入力すると、Web 設定画面にアクセスできます。

Web 設定に関するご注意

設定する項目によっては、設定後再起動が必要になりますのでご注意ください。

Web 設定画面／ホームメニュー



Web 設定画面にアクセスするとホームメニューが表示されます。

Android apk をダウンロード

Android 端末を使用した場合、USB デバッグを有効にする必要があります。USB デバッグを有効にできない端末で本製品を利用される場合は、このメニューから Android apk または Google Play（推奨）から QuattroPod APP をダウンロードして、端末にインストールしてください。

注意 このメニューからダウンロードした apk をインストールするには Android 端末にて【この提供元不明のアプリを許可】の操作が必要になります。

QuattroPod APP は、送信機を使用する Wire モードのほかに送信機を使用せずに Android 端末の WiFi 経由でミラーリングも可能です。

ネットワーク管理

既存の WiFi ネットワークに導入する際の設定を行います。SSID をスキャンする前に「WiFi 設定を記憶する」が「ON」になっているか確認してください。「WiFi 設定を記憶する」が「OFF」になっていると、受信機の電源がオフになると本メニューで設定したネットワーク接続情報が消去されます。

5G SSID をスキャンして接続する

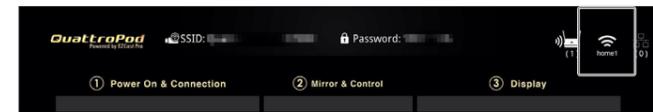
注意 有線 LAN 接続されている場合、設定は選択変更できません。

本製品では 5GHz 帯域の WiFi 環境に導入可能です。メニューを選択すると本製品が接続可能なアクセスポイントを検出します。



受信機（親機）を導入するネットワーク SSID を選択するか、「ネットワークの追加」を選択してログイン情報を入力してください。

「ネットワークのセキュリティ」「SSID」「パスワード」を設定して「OK」を押すと接続を開始します。接続が完了すると、ホーム画面右上のアイコンが点灯します。



WiFi 設定を記憶する

ON	「5G SSID をスキャンして接続する」で設定したネットワーク情報が保存され、受信機を再起動しても自動的にネットワークに接続します。
OFF	受信機の電源がオフになると「5G SSID をスキャンして接続する」で設定したネットワーク情報が破棄されます。

デバイス管理

言語

Web 設定画面で使用する言語を設定します。auto は OS の言語に設定します。

解像度

受信機（親機）の HDMI ポートからの出力解像度を設定します。出荷時は「1920 × 1080 (60fps)」に設定されています。「自動」では出力環境に応じて自動的に解像度を設定します。

最大接続数

受信機に接続できる送信機（子機）の数を設定します。（出荷時設定：8 ユーザー）最大 32 ユーザーまで設定可能です。

Android audio streaming

音声ストリーミングの ON / OFF を設定します。「ON」にすることでネットワークスピーカーとして受信機が表示されるようになりますので、Android および ChromeOS の設定画面にある機器接続から受信機（親機）のネットワークスピーカーとペア設定してください。上記設定を行うことで投影時に、音声もストリーミングすることができます。

ディスプレイモード

オリジナル	送信元端末の画面アスペクト比で表示されます。
全画面	アスペクト比を投影先のディスプレイに合わせて全画面表示します。

時限再起動

設定時間以上操作が行われなかった場合、受信機（親機）を自動的に再起動する設定です。

One Touch Play

「ON」に設定した場合、受信機（親機）の電源を操作と連動して HDMI ケーブルで接続されたディスプレイも自動的に電源をオンにすることができます。HDMI 電源連動に対応したディスプレイのみ有効です。

基本情報

受信機（親機）のファームウェアバージョン、アクセスポイントの IP アドレス等の情報を表示します。

管理者パスワードと管理者設定について

「管理者パスワード」を入力して管理者としてログインすると、メニューに「管理者設定」が追加されます。

管理者設定を表示することで、受信機（親機）の全ての動作設定が可能になります。

■初めてログインする場合

初めて管理者としてログインする際は必ずパスワード変更が必要になります。



画面の指示に従ってパスワードの変更を行ってください。

1. 初期設定のパスワード「000000」でログインしてください。
2. パスワードの変更画面が表示されます。新たなパスワードを設定してください。
3. パスワードの変更が完了すると「パスワード変更に成功しました！もう一度ログインしてください。」とメッセージダイアログが表示されますので「OK」ボタンをクリックしてください。
4. パスワード変更後に再度ログインが必要になります。

ログイン画面が表示されたら、新しく設定したパスワードでログインしてください。

注意 パスワードを忘れた場合、受信機（親機）の初期化が必要になります。
初期化方法
受信機（親機）の電源をオンにしてリセットボタンを約 6 秒間ほど長押ししてください。

管理者設定



WiFi チャンネル

無線のチャンネルおよび帯域幅を設定します。下記は出荷時の設定です。

国	Japan
チャンネル	Auto
帯域幅	20MHz

LAN IP 設定

既存ネットワークに接続する際のネットワーク設定を変更します。出荷時は「自動式」が「ON」に設定されており IP アドレスが自動取得されているため「IP アドレス」や「ゲートウェイ」等の項目は変更できません。

これらの項目を手動で変更する場合は「自動式」を「OFF」にしてください。

SSID

受信機の SSID に関する設定を変更します。

新しい SSID	現在設定されている受信機（親機）の SSID が入力されています。変更する場合は新しい SSID を入力してください。
SSID を隠す	ホーム画面上部に表示されている SSID が非表示（アスタリスク表示）になります。
SSID をオフにする	受信機（親機）へのダイレクトを無効にします。

注意 「AirPlay」「GoogleCast」「Miracast」が OFF の時のみ設定可能です。
「SSID をオフにする」を「ON」にした場合、受信機（親機）への WiFi 接続ができなくなり、有線 LAN でのみ接続可能になりますのでご注意ください。

パスワード

受信機（親機）にダイレクト接続する際の接続パスワードを設定します。

「パスワードを隠す」を「ON」にすると、ホーム画面上部に表示されている「Password」が非表示になります。

注意 Miracast サポートが「ON」の場合、本設定は変更できませんのでご注意ください。

Sketch

「ON」にすると、タッチバックコントロール使用時に、タッチパネル画面への書き込みが可能になります。

中央管理システム

CMS(Central Management System) tool にて機器の管理を行います。
※ 弊社では本機能はサポートしておりません。

カンファレンスコントロール

各端末のキャストिंगの管理とホスト権限の移行を行います。



- ここでホスト端末の切り替えができます。ホストに設定されている端末にチェックマークが付きます。
- の「□」をクリックすると③が表示されます。
- 画面位置を示すアイコンを選択して、該当する端末をキャストिंगさせる画面の位置を事前に設定できます。

「すべて切断」を押すとディスプレイへの接続を全て切断します。

マイスクリーン

画像をアップロードすることで、ホーム画面を変更することができます。使用できる画像下記の通りです。

解像度	1920 × 1080pixel
サイズ	2MB 以下
ファイル形式	PNG 形式

△注意	一度変更すると、本製品を初期化してもホーム画面は出荷時の画面には戻りません。 <p>出荷時の画面に戻す場合は、https://ezcast-pro.com の QuattroPod のマニュアルダウンロードページ https://ezcast-pro.com/download/quattropod-manuals/ の「Background wallpaper 画像」を再度アップロードしてください。</p>
-------------------------	--

動的ホームページ

ランディングページを動画や画像でカスタマイズします。
※ 弊社では本機能はサポートしておりません。

ホスト制御

複数の送信機（子機）で運用する際の「ホスト送信機」および「ゲスト送信機」に関する設定をします。

複数の送信機（子機）で運用する場合、1 番最初に受信機（親機）に接続した送信機（子機）が「ホスト送信機」として動作します。2 番目以降に接続される送信機（子機）は「ゲスト送信機」として動作します。

■ リクエストは自動的に認める

出荷時の設定は「OFF」に設定されています。

ON	ゲスト送信機がミラーリングを行うためには、ホスト送信機に「ミラーリングリクエスト」を送る必要があります。
OFF	ゲストからの「ミラーリングリクエスト」の送信が不要になりゲストがすぐにミラーリングすることが可能になります。

■ 画面共有

出荷時の設定は「ON」に設定されています。

ON	新たにゲストがミラーリングをすると画面が分割されて先にミラーリングしている端末画像と共に分割表示されます。4 画面（4 端末）まで分割表示されます。
OFF	この設定が「OFF」の場合、画面分割表示にならず最後にミラーリングした送信機（子機）の画面だけ全画面で表示されます。

エアビュー

AirView とはキャストिंग中の映像を各端末に配信する機能です。「ON」に設定した場合、「更新時間」で設定した時間毎に配信される画像が更新されます。

AirPlay

出荷時の設定は「OFF」に設定されています。

この設定が「ON」の場合、iOS／iPadOS、macOS からミラーリングする際に送信機（子機）を経由せず AirPlay 機能を使用して直接ミラーリングすることが可能になります。

「AirPlay PIN code」を「ON」にすると、AirPlay でミラーリングする際にパスコードの入力を設定することができます。パスコードは AirPlay からの接続要求時に待ち受け画面右下付近に黄色の 4 文字数字が十秒ほど表示されます。

Miracast サポート

出荷時の設定は「OFF」に設定されています。

※ ファームウェア ver 1.16163.108から工場出荷時の設定は「ON」になります。

この設定が「ON」の場合、Android からミラーリングする際に送信機（子機）を経由せず Miracast 機能を使用して直接ミラーリングすることが可能になり、受信機のSSIDの先頭に「DIRECT-」が追加されます。



「PIN」を「ON」にすると、Miracast でミラーリングする際にパスコードの入力を設定することができます。

△注意	Miracast サポートを「ON」に設定変更した場合、受信機（親機）の SSID が変わります。受信機（親機）に WiFi 接続している機器は、WiFi 設定を変更して再度受信機（親機）にアクセスしてください。送信機とのペアリングも破棄されますので、本機能の設定変更後は再度送信機（子機）とペアリングを行ってください。Miracast を「OFF」に設定すると SSID の先頭に追加された「DIRECT-」は削除されます。
-------------------------	---

Admin パスワード

管理者設定を表示するためのパスワードを設定します。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーが起動するまでの時間を設定します。設定された時間が経過すると、スクリーンセーバーが起動してホーム画面が暗くなります。

HDCP Pass Through

この設定が「ON」の場合、送信機から投影する映像が HDCP でコンテンツ保護されていても、接続しているモニターの HDCP キーを使用して HDCP を解除します。

△注意	接続しているディスプレイは HDCP に対応している必要があります。
-------------------------	------------------------------------

自動 Wi-Fi チャンネルスイッチのお知らせ

通信環境に合わせて自動で WiFi チャンネルを変更します。

△注意	Miracast サポートを「ON」に設定している場合や受信機（親機）を既存の無線 LAN ネットワークに接続している場合は設定できません。
-------------------------	--

WiFi Enterprise

受信機が無線 LAN アクセスポイントに IEEE802.1x 認証で接続する際に使用するデジタル証明書（PEM 形式）をアップロードします。

固定ホスト

ホスト送信機との接続方法を選択します。

ダイナミック	接続順に応じてホストが変わります。（出荷時設定）一番最初に接続した送信機（子機）がホストとして動作します。
固定 IP	ホストとして使用する端末の IP アドレスを指定します。
固定装置	接続中の送信機（子機）から、ホストとして使用する送信機（子機）を選択します。

Google Cast

出荷時の設定は「ON」に設定されています。

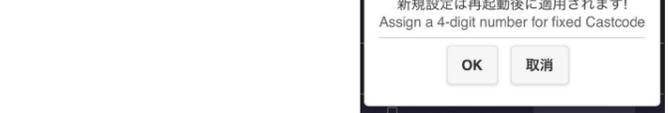
Google Cast を有効または無効にします。

Android 端末で送信機を使用せずに QuattroPod App からミラーリングする際は有効にしてください。また本機能のミラーリングを行うには受信機がインターネット接続に接続している必要があります。

Castcode コントロール

キャストिंगする際に入力するコードを設定できます。

「ランダム」または「固定」で 4 桁の数字を設定した場合、ホーム画面上部に「Castcode」として表示され、ミラーリングする際にコードの入力が必要になります。



アップグレード

△注意	アップデート機能を使用するにはインターネット接続が必要です。有線 LAN 接続またはインターネットに接続可能な既存ネットワークに受信機（親機）を導入してください。
-------------------------	---

- 受信機（親機）を有線 LAN または WiFi 接続でインターネット接続が可能なネットワークに導入してください。
- 送信機（子機）の電源オンにして受信機（親機）に接続してください。
- 受信機の Web 設定にアクセスして管理者設定からアップグレードを選択します。
- 「すべて選択」をチェックすると、表示されている全ての受信機・送信機のファームウェアにチェックが付きます。
- 「更新」ボタンを押して、更新を開始します。更新が完了したら各機器が自動的に再起動されます。

無線ネットワーク設置テスト

受信機（親機）および現在接続している送信機（子機）の WiFi 出力を設定します。WiFi 環境に関する各種テストを行えます。

マルチキャスト

マルチキャストとは 1 台の送信機（子機）の映像を複数の受信機（親機）に一斉送信する機能です。本製品では最大 6 台の受信機を一つのグループとしてマルチキャストすることが可能です。

マルチキャスト機能を使用するには、**ネットワーク上に DHCP サーバーと送信機（子機）が接続可能な無線 LAN アクセスポイントが必要**です。マルチキャスト設定する受信機（親機）は同一のネットワークに設置されている必要があります。



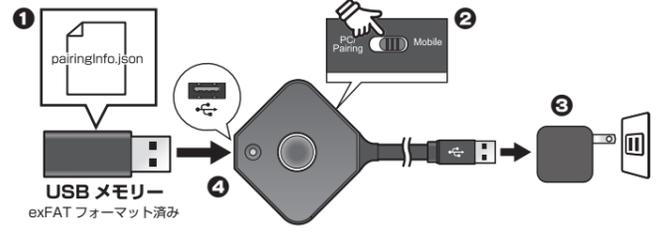
マルチキャスト	「ON」に設定するとマルチキャスト機能が有効になります。マルチキャスト機能が有効になっている場合、ホーム画面上部に「Mode：MultiCast」と表示されます。 「AirPlay」「Miracast」「Google Cast」「ホスト制御」等は「OFF」に変更されます。
キャストグループ	マルチキャストのグループ名を設定します。ここで設定した名称はホーム画面上部に「Group ID:マルチキャストグループ名」として表示されます。
外部ルーターのセキュリティ	接続している WiFi のセキュリティを選択します。
デバイス名	接続している WiFi の SSID を入力します。
パスワード	接続している WiFi パスワードを入力します。

ペアリングファイルをダウンロードする

pairingInfo.json ファイルをダウンロードします。本ファイルを使用することで、受信機（親機）と送信機（子機）をケーブルで接続することなく送信機（子機）の操作だけで受信機（親機）とペアリングすることが可能です。

△注意	<ul style="list-style-type: none">別途 FAT または exFAT でフォーマットされた USB メモリーが必要になります。 「pairingInfo.json ファイル」を使用するペアリングは、送信機（子機）のモード切替えスイッチを「mobile」で行ってください。
-------------------------	--

■ ペアリング手順



- exFAT でフォーマットされた USB メモリーに pairingInfo.json ファイルをコピーします。
 - ※フォルダーには入れず一番上の階層にコピーしてください。
- 送信機（子機）のモード切替えスイッチを「mobile」にします。
- 送信機（子機）の給電用 USB ケーブルを USB-AC アダプターや PC の USB ポートに接続して電源をオンにします。
- 10 秒ほどすると送信機（子機）の起動が完了しますので、モバイル用 USB ポートに pairingInfo.json ファイルをコピーした USB メモリーを接続します。
- 送信機（子機）のペアリングボタンが白く点灯すればペアリング完了です。

再起動

Web 設定で設定を変更した場合は、必ず再起動することをお勧めいたします。

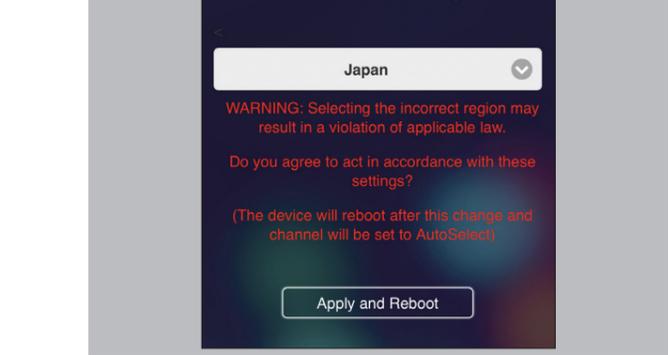
「再起動」するには、本項目を選択した後「再起動しますか？」の画面で「はい」を選択してください。

再起動後は必要に応じて各機器を再度受信機（親機）に接続してください。

デフォルトにリセット

本製品を出荷時の状態に初期化します。

△注意	初期化では「WiFi SSID」「メインページ」以外の設定が全てリセットされます。送信機（子機）とのペアリングは解除されせん。初期化後、「Select WiFi Country」画面が表示されたら「Japan」を選択して「Apply and Reboot」を押してください。
-------------------------	---



- 送信機（子機）の電源オンにして受信機（親機）に接続してください。
- 受信機の Web 設定にアクセスして管理者設定から「デフォルトにリセット」を選択します。
- 「RX をリセット」（受信機）「TX をリセット」（送信機）「RX+TX をリセット」（受信機と送信機）のいずれかに印を付けて「はい」を押すと初期化を開始します。